

“月間”での「『健やか』の心」の学び

前回お伝えしましたように、6月は「心のきずなを深める月間」でした。子どもたちは「『人権の花』運動」や人権旬間における取組を通して、「『ことば』の心」を育てていました。同時に、6月は「食育月間」でもあり「歯と口の健康月間」でもありました。つまり、「『健やか』の心」の育成にも関係のある月間であったわけです。

歯と口の健康に関する講話

6月3日、多くの保護者の皆様と上学年の子どもたちを対象に**学校保健委員会**を開催しました。内容は**歯と口の健康**に関する講話でした。

講師は学校医でもある**ひろた歯科医院**の志垣先生でした。先生は、食べ物を**前歯**で噛む習慣の定着や歯科医院での**定期健診**等の大切さを話されました。子どもたちは自らの生活経験と**照らし合わせながら**学んでいました。



【学校保健委員会の様子】

土砂崩落垂直避難訓練

学校保健委員会開催と同じ6月3日、**土砂崩落の垂直避難訓練**を実施しました。これは昨年度から始めた避難訓練です。

講師は熊本市西消防署**河内出張所**の皆様です。土砂崩落や洪水は、子どもたちにとって想像し難い事象です。避難後の講話ではそれらから身を守るための**留意点**等をわかりやすくご助言いただきました。子どもたちは**うなずきながら**聞いていました。



【避難後の講話の様子】

“月間”の学びを真に生かすのはこれからです



【心肺蘇生法職員研修の様子】

お気づきのように、6月には、本格的な雨季を控えて**危機管理**関係の行事も実施しました。ほかにも**食育だより**でご家庭の皆様へ食の大切さをお伝えしたり、プール使用を目前に**心肺蘇生法職員研修**も実施したりしています。子どもたちも保護者の皆様も職員も、「『健やか』の心」を育てた月間でした。

しかし、本当に学びを生かすのは“月間”が終わった今日からです。健康と安全の保持は、365日24時間 — **日頃の意識**が深く関係するからです。

土砂崩落等の非常変災は**もちろんのこと**、歯と口の病気も偏食等も**生命**に危険を及ぼします。月間が終わったからこそ、「**歯磨きをしよう**」「**避難経路は覚えている？**」「**何でも食べよう**」と**啓発**しあうなど、命を守るための行動を**日常化**していきたいですね。

例年、心肺蘇生法研修でも**河内出張所**の皆様にご助言を頂いています。間接的にも子どもたちの**安全**を守ってくださっています。



くまぼう君
KUMAMOTO
BOUSAI



【半夏生】今年の半夏生は七月一日です。この日を迎えると梅雨も半分過ぎたのかなと思ってしまうかもしれません。ちなみに半夏生にたこを食べる風習は関西地方発祥だそうです。